

2013年(平成25年) 12月5日 木曜日

信濃毎日新聞

# 「日本のスキー場に未来はあるか」

大町市や飯山市のスキー観光地で春から秋にかけての集客策を提案してきたNPO法人「元気・まちネット(東京)」は7日、「日本のスキー場に未来はあるか」と題する公開講座を専修大神田キャンパス(東京)で開く。「スキー観光地がたくさんある長野の方に参考にしてほしい」と県内からも来場を呼び掛けている。

NPO代表の矢口正武さん(66)は長年、大町市でスキーとトワイアスロンの合宿をしていた縁で、同市の山道や湖を使う夏場のオフロードイベントを発案、地域の人と運営してきた。飯山市でも駅伝形式で山道を走るトレイルランニ

大町の夏場集客提案 NPO

## 7日に都内で公開講座

「日本のスキー人口はどこまで滑落するか 経済学的知見より」と題し基調講演する。テレマークスキー世界選手権の元日本代表山田誠司さん(小谷村)がスキーの魅力、矢口さんが各地での取り組みや活性化策をそれぞれ話す。終了後に懇親会がある。

午後1時半～4時半。参加費千円(懇親会は別に3500円ほどが必要)。受講希望者は6日までに矢口さんへ電話(☎0990・5494・8699)かメール(✉enki-kuma@mc.point.ne.jp)で申し込み。